



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年6月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 小池 守 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	203,122	11.5	4,299	52.1	5,597	70.1	3,820	64.9
29年2月期第1四半期	182,161	△13.2	2,826	△41.4	3,289	△38.6	2,316	△39.1

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 482百万円(△88.7%) 29年2月期第1四半期 4,276百万円(△70.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	396.81	—
29年2月期第1四半期	240.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	446,154	183,846	39.2
29年2月期	446,726	184,427	39.3

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 175,101百万円 29年2月期 175,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	85.00	—	90.00	175.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	400,000	11.9	7,000	16.6	8,500	2.0	6,000	9.4	623.18
通期	820,000	8.9	16,000	10.6	19,500	8.0	13,000	12.0	1,350.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期1Q	9,720,000株	29年2月期	9,720,000株
30年2月期1Q	91,963株	29年2月期	91,963株
30年2月期1Q	9,628,036株	29年2月期1Q	9,628,284株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先行き不透明な状況が続く中、堅調な米国経済に加え、中国及び新興国経済で持ち直しの兆しが見られ、緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、個人消費が弱含みながら、輸出と設備投資の伸びなどで製造業の生産活動が持ち直し、緩やかな回復基調となりました。

このような状況下にあつて、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,031億22百万円で前年同期比11.5%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が141億98百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益が42億99百万円（前年同期比52.1%増）、経常利益が55億97百万円（前年同期比70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億20百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

これを、事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の回復に加え、土木・建築向けで数量を伸ばし、順調でした。

特殊鋼部門は、建機等の産業機械や自動車の国内生産が持ち直し、順調でした。

海外は、鋼材価格の回復及び北米とアジア向けで数量を伸ばし、好調でした。

鉄鋼セグメントの売上高は、862億52百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、原材料価格の回復に加え、電子部材を中心に国内外で需要が伸び、大幅に増加しました。

エレクトロニクス部門は、通信機器関連が伸び悩みましたが、自動車関連やFA関連が増加し、横ばいとなりました。

情報・電機セグメントの売上高は、437億2百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

(産業資材)

化成品部門は、樹脂原料価格が下げ止まり、自動車関連などで数量を伸ばし、順調でした。

メカトロ部門は、海外での設備機械に加え、国内は部品・工具が伸び、堅調でした。

産業資材セグメントの売上高は、599億46百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

(生活産業)

配管建設部門は、ガス関連資材が軟調に推移しましたが、分譲マンションの販売が増加しました。

食品部門は、水産物の輸入が落ち込みましたが、鶏肉・鶏肉加工品等の販売が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、132億19百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,461億54百万円となり、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券評価額の減少などにより前連結会計年度末に比べて5億71百万円減少しました。

負債は2,623億8百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて9百万円増加しました。

純資産は1,838億46百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少などにより前連結会計年度末に比べて5億81百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成29年3月31日発表の予想数値を据置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,627	12,931
受取手形及び売掛金	164,740	160,154
電子記録債権	23,137	27,269
商品及び製品	43,199	45,060
仕掛品	4,530	6,842
原材料及び貯蔵品	1,496	1,423
その他	9,186	9,484
貸倒引当金	△553	△540
流動資産合計	258,364	262,625
固定資産		
有形固定資産	40,215	39,839
無形固定資産	1,292	1,240
投資その他の資産		
投資有価証券	128,404	123,736
その他	18,735	18,996
貸倒引当金	△286	△283
投資その他の資産合計	146,853	142,449
固定資産合計	188,361	183,528
資産合計	446,726	446,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,928	90,188
電子記録債務	17,754	17,460
短期借入金	87,842	87,992
未払法人税等	2,668	1,394
賞与引当金	1,224	2,076
その他	9,687	12,944
流動負債合計	208,105	212,056
固定負債		
長期借入金	19,089	16,521
繰延税金負債	29,181	27,819
役員退職慰労引当金	759	707
退職給付に係る負債	1,738	1,769
その他	3,423	3,433
固定負債合計	54,192	50,251
負債合計	262,298	262,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	101,345	104,299
自己株式	△455	△455
株主資本合計	117,817	120,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,771	53,417
繰延ヘッジ損益	△49	△38
為替換算調整勘定	△150	△451
退職給付に係る調整累計額	1,267	1,403
その他の包括利益累計額合計	57,837	54,330
非支配株主持分	8,772	8,745
純資産合計	184,427	183,846
負債純資産合計	446,726	446,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	182,161	203,122
売上原価	169,645	188,923
売上総利益	12,516	14,198
販売費及び一般管理費	9,689	9,899
営業利益	2,826	4,299
営業外収益		
受取利息	332	348
受取配当金	80	841
持分法による投資利益	283	299
その他	252	240
営業外収益合計	950	1,731
営業外費用		
支払利息	341	371
手形売却損	5	4
その他	140	56
営業外費用合計	487	432
経常利益	3,289	5,597
特別利益		
固定資産売却益	10	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産処分損	6	9
投資有価証券評価損	—	22
出資金評価損	9	—
その他	—	0
特別損失合計	15	31
税金等調整前四半期純利益	3,285	5,567
法人税、住民税及び事業税	1,138	1,776
法人税等調整額	△304	△224
法人税等合計	834	1,552
四半期純利益	2,450	4,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	194
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,316	3,820

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	2,450	4,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,144	△3,353
繰延ヘッジ損益	47	11
為替換算調整勘定	△1,148	△283
退職給付に係る調整額	82	137
持分法適用会社に対する持分相当額	△300	△45
その他の包括利益合計	1,825	△3,532
四半期包括利益	4,276	482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,216	313
非支配株主に係る四半期包括利益	59	168

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,630	37,640	56,993	12,896	182,161	—	182,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	196	389	186	287	1,059	△1,059	—
計	74,827	38,029	57,179	13,184	183,221	△1,059	182,161
セグメント利益	966	463	1,281	275	2,987	△160	2,826

(注)1. セグメント利益の調整額△160百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	86,252	43,702	59,946	13,219	203,122	—	203,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	230	594	115	321	1,261	△1,261	—
計	86,483	44,296	60,062	13,541	204,383	△1,261	203,122
セグメント利益	1,481	1,010	1,546	484	4,523	△223	4,299

(注)1. セグメント利益の調整額△223百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。